

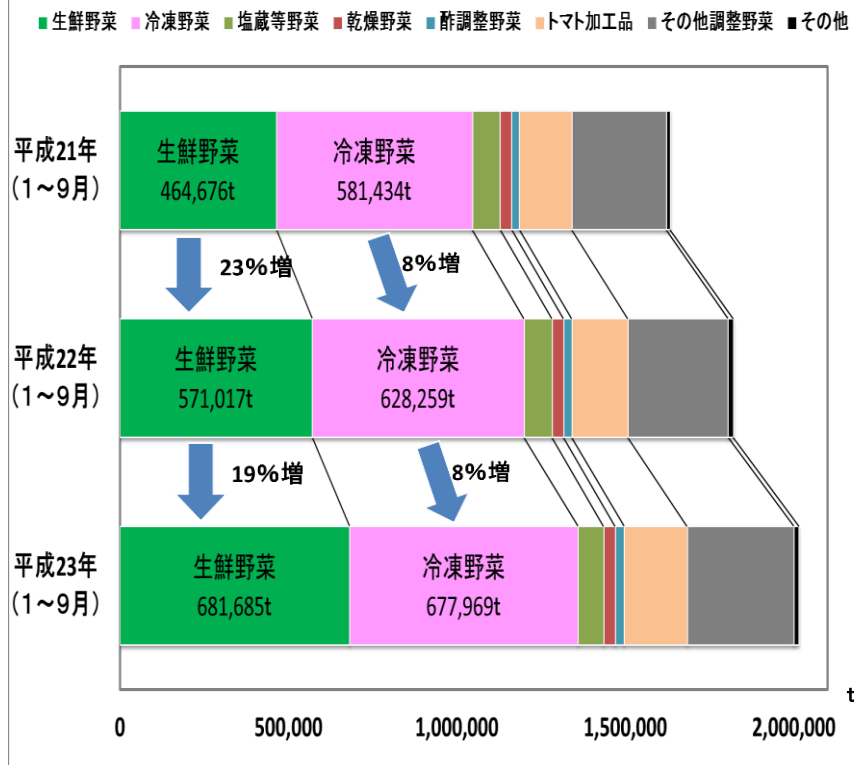
野菜の輸入量が対前年同期比で増加

生鮮野菜の輸入量は、国産野菜が不作となり卸売価格が高騰すると増加する傾向となる。23年は北海道産たまねぎが2年続いた不作の影響を受け、1～9月の輸入量は前年同期比21%増の27万トン、同じく前年に不作だったにんじんの37%増の6万3千トンになったこと等から、前年同期比19%増加の68万トンとなっている。

冷凍野菜は、中食の増加傾向を受け、ばれいしょやほうれんそう等が増加し、前年同期比8%増加の68万トンとなっている。

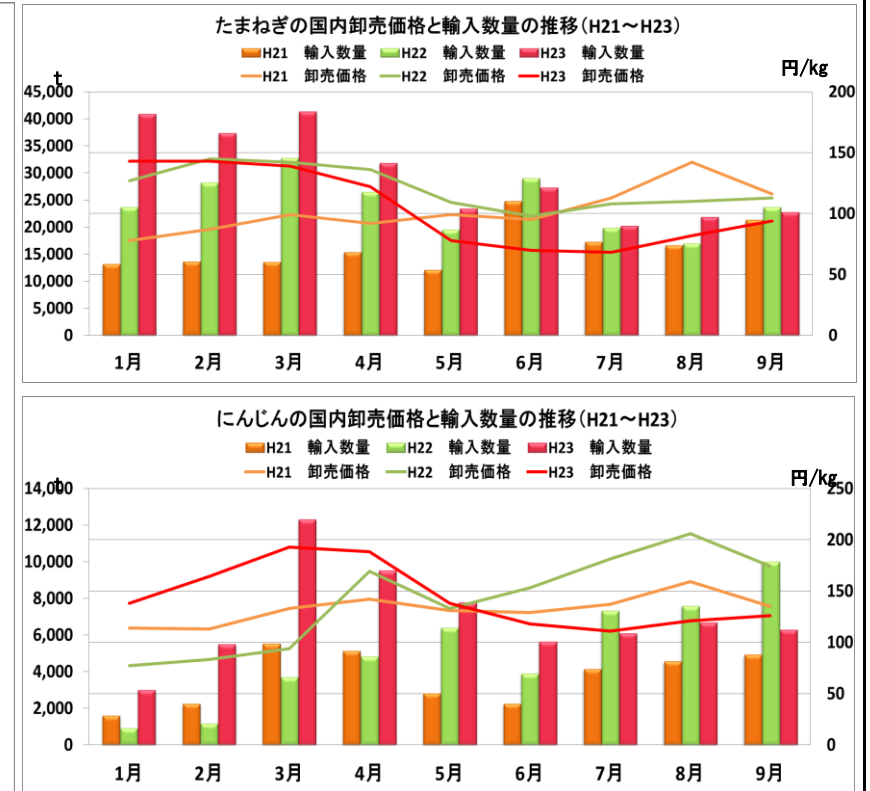
今後は、
①にんじんは国産が潤沢な出回りとなっているものの、たまねぎは、北海道産の出荷が平年に届かないこと
②むきたまねぎ等、業務用需要の引き合いが強いこと
③低価格志向が今後も続くと思われること等から、23年は輸入量が多かった前年より増加すると思われる。

平成21年から23年の野菜の類別輸入数量(1～9月)



資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

輸入数量と卸売価格の月別推移（平成21～23年）



注）卸売価格は、東京都中央卸売市場の価格
資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」「青果物情報センター」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html